

<<Web調査>> 1000人に聞いてみました 「新型コロナウイルスの感染拡大により、外出・外食回数はどう変化した？」

調査の背景

新型コロナウイルスの感染拡大により、主に首都圏の人々の行動はどう変わったでしょうか。東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県在住の1000人に聞いてみました（2020年9月14日時点）。

調査結果サマリ

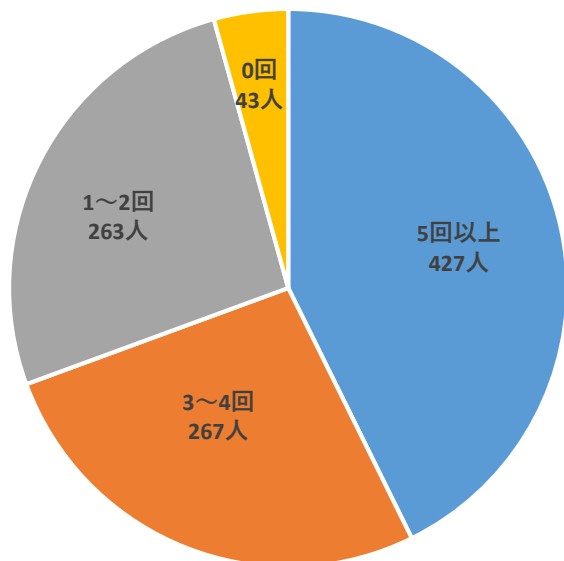
- 新型コロナ感染症により、「外出」「外食」の回数が減った人の数はともに829人(約83%)と、高い数値を示した。一方で、特に減っていないと回答した人も171人(約17%)いた。
- 一週間の「外出」回数は、5回以上が4割以上を占め、3～4回も含めると7割以上となったが、一方で全く外出しなかった人も43人いた。比較的外に出ているという結果だが、後述のように仕事上の事情によるものも多いと考えられる。
- 一週間の「外食」回数は、0回が4割以上、1～4回が約48%を占めた。5回以上の人は1割程度となっており、全体的に回数を減らす傾向が顕著に表れている。
- 特に減っていないと回答した171人にその理由を聞いたところ、半数以上は「仕事で外出しなければならないから」、約14%は「仕事で外食しなければならないから」と答えた。また、18%弱は「プライベートで外出しなければならない事情があるから」としている。一方で、制限する必要性そのものを感じないとする人の割合も、「外出」で約20%、「外食」で約36%と、比較的高い結果になった。
- 約82%の人が、感染を防ぐために行かないようにしている場所があると回答している。なかでも最も避けられている外出先は、「クラブやバー、カラオケボックス」など、主に夜の時間帯に利用される密になりやすい空間であり、24.4%であった。屋内娯楽施設（映画館、劇場、美術館等）の17.5%、「レストラン・カフェ」の13.3%が後に続く。その他、屋外娯楽施設（遊園地、イベント会場、スタジアム等）も比較的高い割合となっており、この4か所が全体の7割程度を占めた。人が多く、密度の高い空間は避ける傾向が続いている。

調査結果の詳細

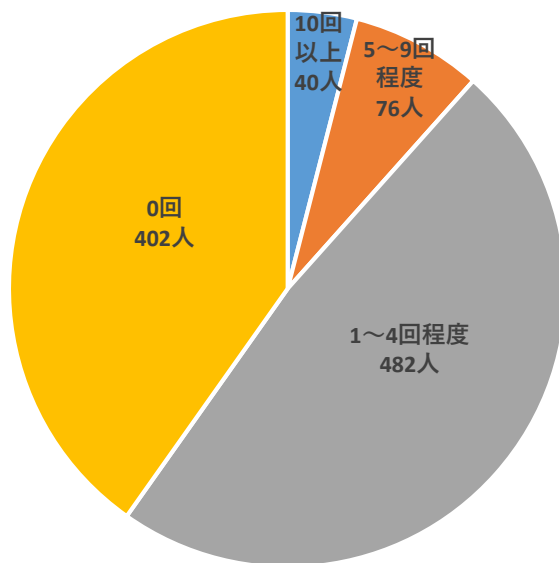
以下の通りである。

住んでいる都道府県	人数
東京都	382
千葉県	160
神奈川県	245
埼玉県	213
	1000

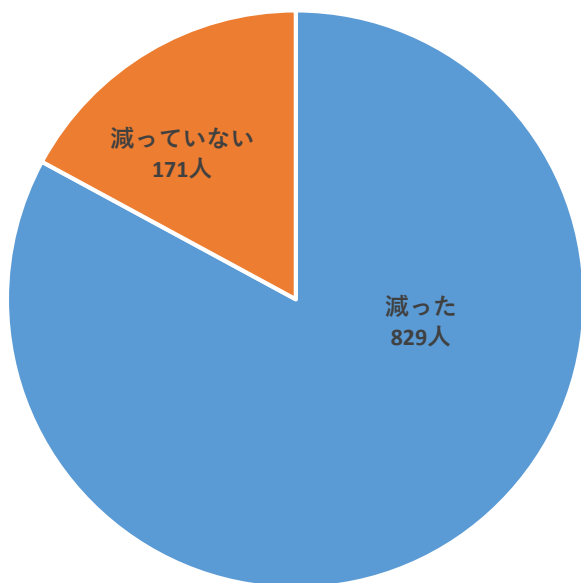
直近1カ月間の外出日数（週単位）



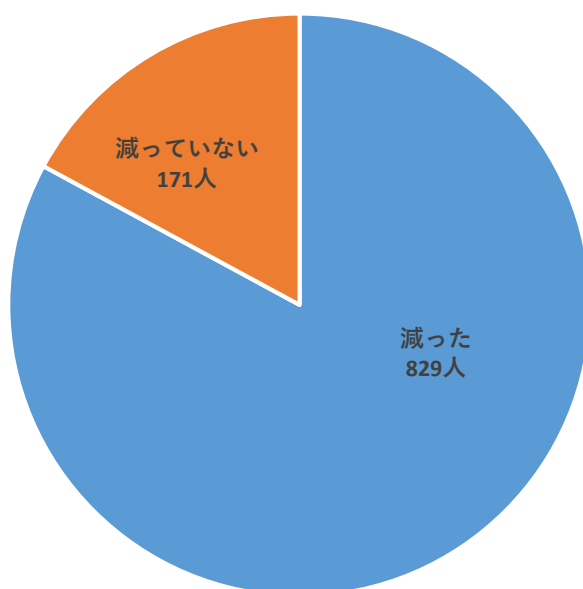
直近1カ月の平均外出回数（週単位）



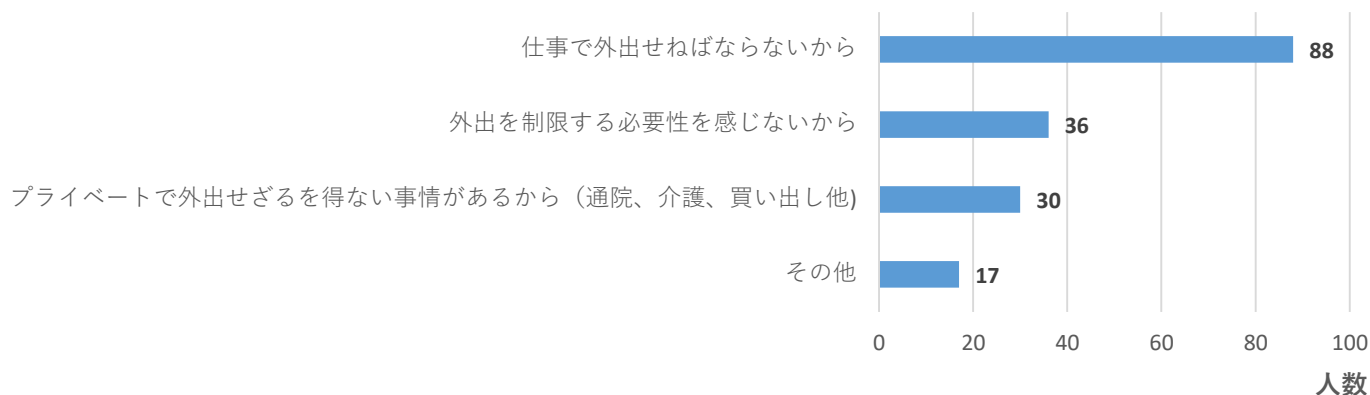
新型コロナウイルス感染症で「外出」回数はどうなった？



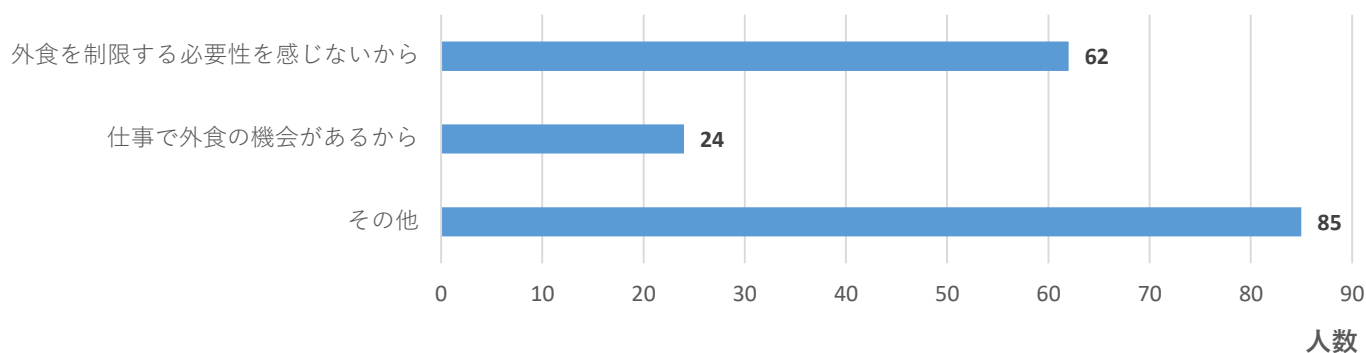
新型コロナウイルス感染症で「外出」回数はどうなった？



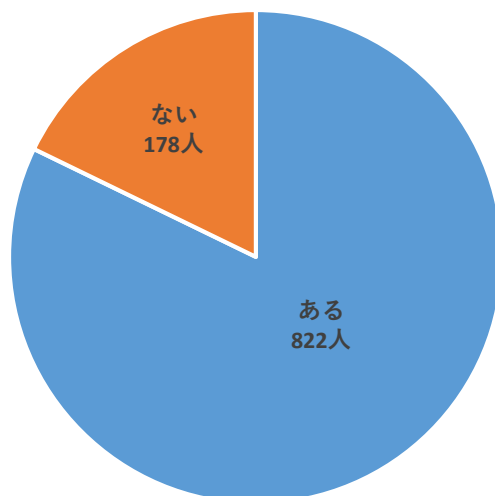
「外出」回数が減っていない理由（回答者数：171人）



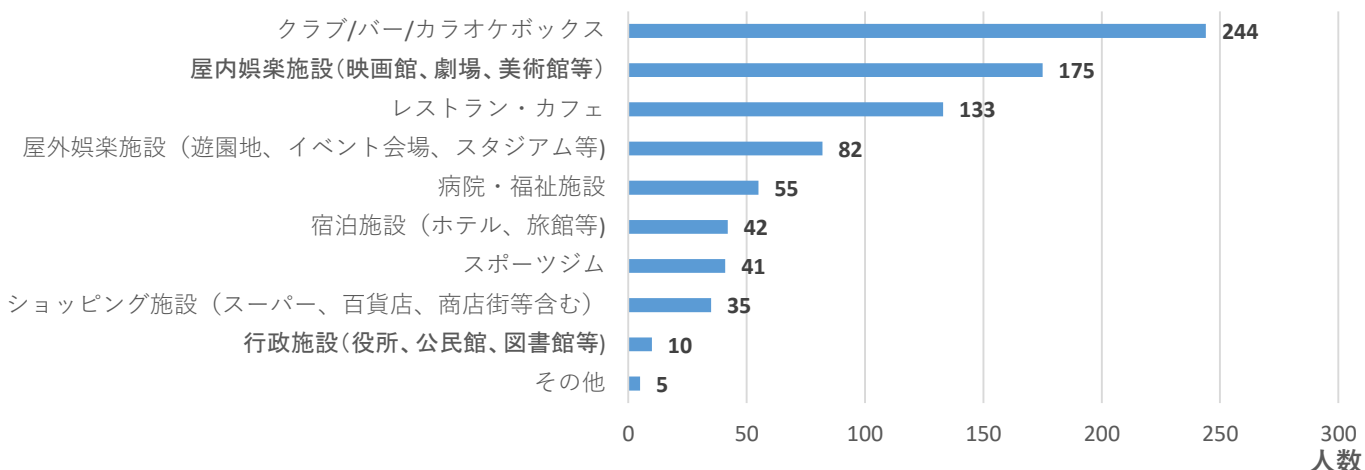
「外食」回数が減っていない理由（回答者数：171人）



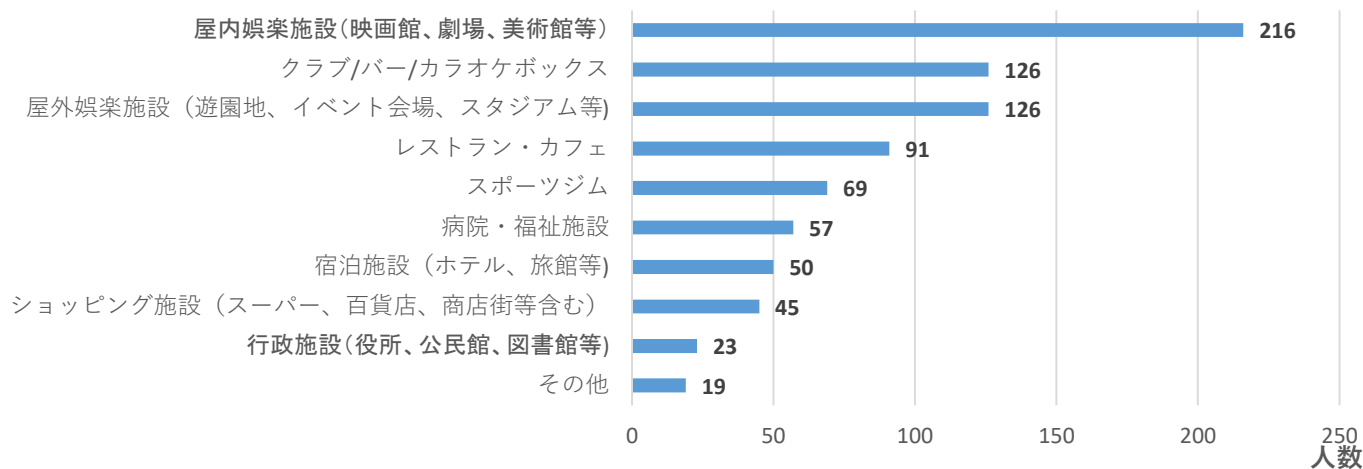
感染を防ぐために
行かないようにしている場所はある？



感染を防ぐために最も行かないようにしている場所はどこ？ (回答者数：822人)



感染を防ぐために2番目に行かないようにしている場所はどこ？ (回答者数：822人)



調査方法

インターネット上でのアンケート

※Yahoo!クラウドソーシング (<https://crowdsourcing.yahoo.co.jp/>) を活用

調査期間

2020年9月14日(月)

調査数

1,000人

注) 本調査は、Yahoo!クラウドソーシングサービスを活用し、属性等を指定することなく広く一般的に回答を集めたものです。